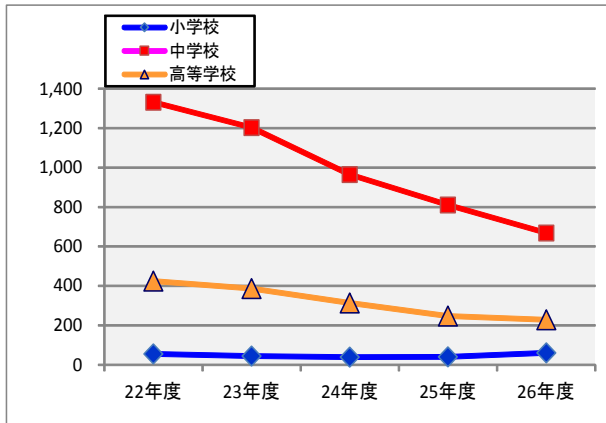


小さな変化を見つめるとサインが見えてきます！

～子どもの粗暴な行為を未然に防止するために～

平成27年12月 北海道教育委員会

【道内の公立小・中学校、高等学校における暴力行為の発生件数】



	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	55	44	39	40	60
中学校	1,332	1,203	965	811	668
高等学校	424	387	313	247	228
計	1,811	1,634	1,317	1,098	956

平成26年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」によれば、公立小・中学校、高等学校における暴力行為の発生件数は、956件と、前年度（1,098件）より142件減少しているものの、小学校における暴力行為の発生件数のみ、60件と、前年度（40件）より20件増加しました。

粗暴な振る舞いなど暴力行為等の問題行動を起こす子どもは、抑圧、不安など情緒的混乱を抱えていることが多いため周囲がそれに気付いて、早期から適切に援助の手を差し伸べる必要があります。

心に抱える悩みや不安、ストレスなどが要因となって問題行動等を起こしがちですが、このような行動を起こす前に、心身の不調を訴えたり、ささいなことに過剰に反応するなど、何らかの前兆行動（サイン）を示すことが多いとされています。

家庭における前兆行動（サイン）を見逃さない！

加害的な行為を起こす側（例）

朝起きられない
言葉遣いが荒い
我慢ができない
すぐに怒ったり文句を言う
家財道具を壊す
部屋が汚い など
親や弟妹に暴力をふるう など
友人からの電話を気にする など
学校に行きたがらない
強い反面、臆病な面が見られるなど

家庭生活全般

家族との関係

友人との関係

その他

被害的な行為を起こす側（例）

朝起きられない
朝、頭痛や発熱を訴える
下校後、ぐったりしている
帰宅が急に早くなる
学校のことを話さなくなる
閉じこもりがちになる など
頑なな感じになる など
友人を避けるようになる など
小心、内気、心配性である
転校したい、生まれ変わりたいと言うなど

子どものサインに気づき、心に寄り添うためには…

- 各家庭のルール等を子どもと一緒に考え、話し合いながらつくりましょう。
- 子どもとのコミュニケーションの場を意図的にもちましょう。
- 「早寝・早起き・朝ご飯」運動に積極的に取り組みましょう。
- 一人で抱え込まずに学校や関係機関に相談してみましょう。
- 子どもの生活リズムを整えましょう。

北海道教育庁学校教育局参事（生徒指導・学校安全）

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目 ☎ 011-231-4111

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/index.htm>